

(中国丙03)
風しん発生推移
= 2026年1月度 =

発表: 2026年2月9日 国家NDPCA

作成: 2026年2月16日
日中医療衛生情報研究所

風しん：傾向としては減少に

2023年2月5日の風しんセミナーに刺激を受け
中国の2008年以後の状況に関し調べてみました

- 2008年には12万人を超える状況、
- コロナ流行直前の2019年末に再び爆発するも、
- 傾向としては減少 日本のような数年おきの流行の様子は見られない。。
- 2009年から12年にかけておよび2019年には、春から夏にかけてのピークが見られたが、最近ではあまりそれが感じられない。
- 2019年だけはなぜか突発的に3万人越え。
- 死者は毎年0か1人のみ

風しん：妊婦さんは要注意！（新）

妊婦の感染は赤ちゃんに先天性の異常発生のリスクも：

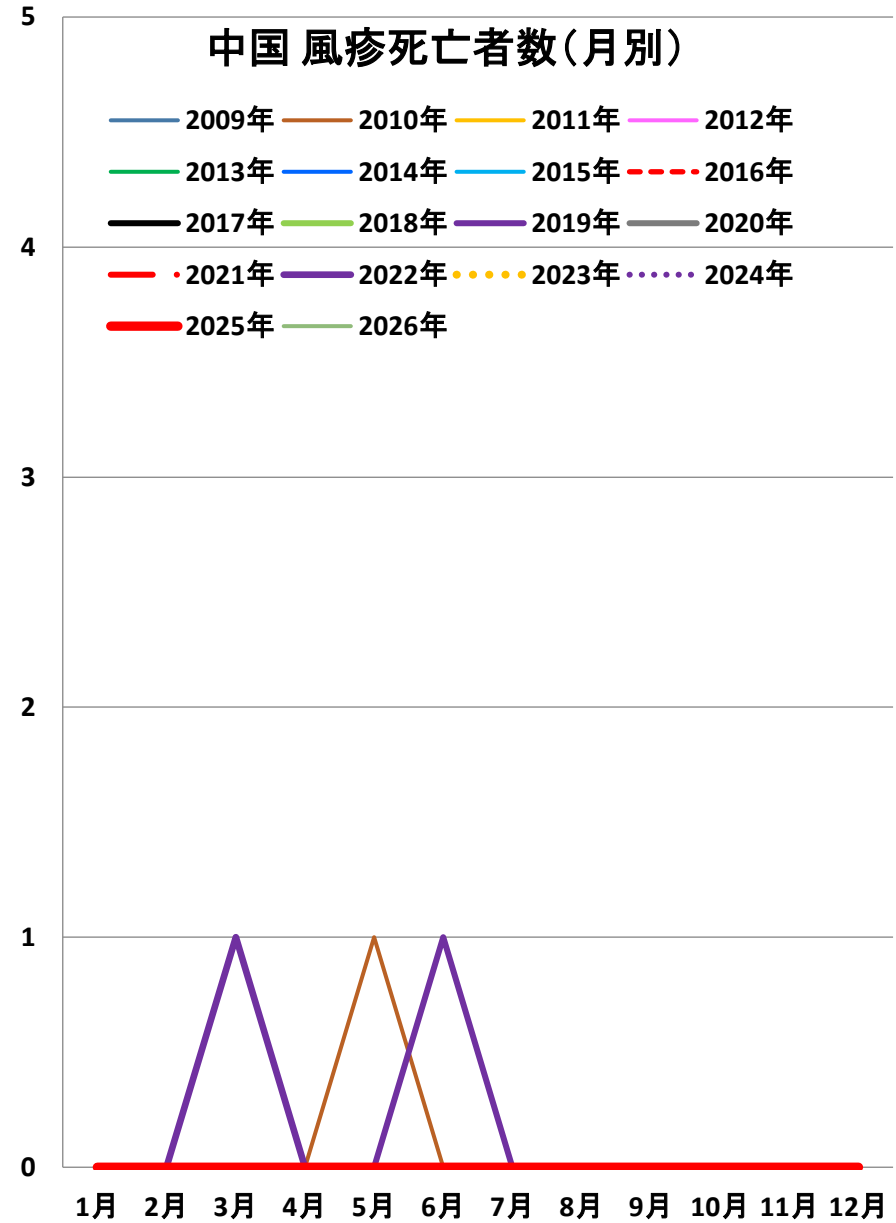
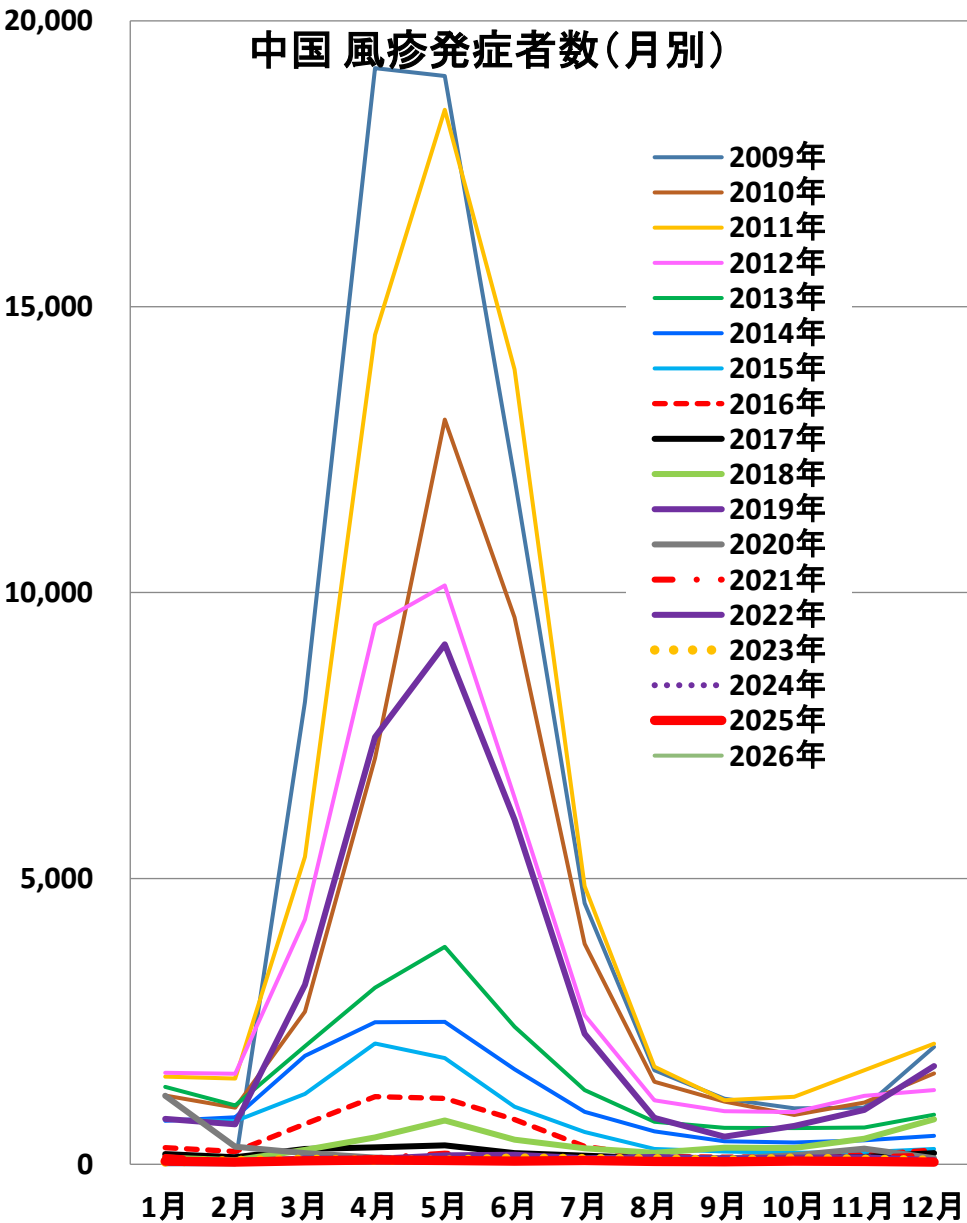
【先天性風しん症候群の赤ちゃんに常見される症状】

- 白内障や網膜症、緑内障などの先天性の眼病
- 難聴（先天性の耳の病期）
- 動脈管開存症など（先天性の心臓疾患）
- 低出生体重や血小板減少性紫斑病など

【ワクチンの予防接種がキー】

- 風しん罹患歴がなく、ワクチン未接種者は、かかりつけ医に相談し、積極的に抗体検査・予防接種を検討
- 妊娠前の予防接種

丙03: 風しん



丙03：風しん

